

木床・木工加工品のお手入れ方法

MOKUTOを含浸塗装した床材、木工製品をきれいにお使いいただくためにはお手入れが必要です。

< 注意事項 >

- 床を傷つけないためにテーブルや椅子の下にはフェルトパッドを貼ってください。
- キャスター付きの荷台や椅子などをお使いの場合はマットを敷いてください。
- 木材にとって水は大敵です。水への浸漬状態が続く木材のあばれ(反り、突き上げ、床鳴り)、膨れ、変色や腐食等の原因となります。水に浸漬した状態は避けてお手入れしてください。

< 日常のお手入れ >

- 日常のお手入れは掃除機やダストモップでホコリを取り乾いた後、雑巾で乾拭きしてください。

【汚れが落ちにくい場合】

- 良く絞った濡れ雑巾で汚れを除去した後、乾いた雑巾で水気を拭き取ってください。
- (注意)洗剤は「中性洗剤」を使用し強アルカリ性洗剤は使用しないでください。

【ひどい汚れで落ちにくい場合】

< レベル1 : 汚れの種類が中性洗剤で落ちる汚れの場合 >

- 化学布雑巾(マイクロファイバー等)に中性洗剤を浸し、汚れ部をこすって汚れを除去してください。
- 化学布雑巾は市販品のものをご使用いただけます。
- (注意)洗剤は「中性洗剤」を使用し強アルカリ性洗剤は使用しないでください。
- 汚れ部の水分は、直ぐに乾いた雑巾で拭き取ってください。

< レベル2 : 汚れの種類が中性洗剤で落ちる汚れの場合 >

- メラミンフォームに中性洗剤を浸し、汚れ部を木目の方向に強くこすって汚れを除去してください。
- (注意)洗剤は「中性洗剤」を使用し強アルカリ性洗剤は使用しないでください。
- 汚れ部の水気、洗剤は、直ぐに乾いた雑巾で拭き取ってください。

< チューインガムや食べ物の付着による汚れ >

- 表面を傷つけないようにペーパーナイフのようなもので取り除きます。市販のスプレークリーナーなどで完全に除去してください。取り除いた後は上記の手入れ作業を実施してください。また必要に応じてMOKUTOを用いたタッチアップ塗装を行ってください。

< マジックや絵の具などの汚れ >

- 塗料用シンナー、ラッカーシンナーなどの溶剤を化学布雑巾(マイクロファイバー等)に含浸させ拭き取ってください。

< 定期メンテナンス >

- (注意)MOKUTOを塗装した木床にはワックスを使用しないでください。

深い傷が表面にできた場合

- 対象箇所は必ず乾燥させた状態にしてください。対象箇所の表面をサンドペーパー、切削具などで平滑に削ります。
- 傷が目立たない状態になったらサンドペーパー(400番)で研磨します。
- その後、傷部にMOKUTOを塗装します。塗装後、30分ほど乾燥させたら、サンドペーパー(800番)で軽く表面を研磨し化学布雑巾(マイクロファイバー等)でホコリを除去し、2回目のMOKUTOを含浸塗装してください。塗装後は表面を良く乾燥させてください。乾燥後は1昼夜程度の養生を行う必要があります。

全体の清掃を行う場合

- 水分を伴う清掃は極力避けてください。使用する場合は少ない水分と直ちに水気を拭き取るようにしてください。
- (注意)洗剤は中性洗剤を使用して強アルカリ性、強酸性のものは使用しないでください。
- 再塗装のサイクルは場所や使用状況により変わります。再塗装が必要な場合は専門業者へお問合せください。